

お客様 各位

島津産機システムズ株式会社

工業炉での事故事例と安全徹底のお願い

拝啓 平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社が納入いたしました工業炉において、最近発生した事象についてご報告と安全上のお願いを申し上げます。この度、本炉の故障に伴い炉内のカーボン断熱材が不完全燃焼を起こし、一時的に一酸化炭素(CO)が発生した事例が確認されました。さらにお客様側で設置されていた排気ダクトに漏れがあり炉設置室内へCOが漏洩し、併せて設置室が狭く気密性の高い環境であったため、作業員のCO中毒が発生しました。幸い症状は軽度で、病院で受診のうえ短期間で復帰されています。

本件を受け、既に取り扱説明書に記載しております注意事項を改めてご確認いただくとともに、追加の安全措置をお願い申し上げます。

敬具

記

重要な安全注意事項

1. CO発生リスクについて

炉の故障や断熱材の不完全燃焼だけでなく、処理物からの蒸発物や、扉を大気開放した後の吸湿等によりCOが発生する可能性があります。異常臭、めまい、頭痛、倦怠感等の症状が現れた場合は直ちに作業を中止し、換気・避難を行ってください。

2. 排気は確実に屋外へ排出すること(既存記載の再確認)

排気ダクトは確実に屋外に接続し、漏れないように施工・点検してください。ダクト接続部、継手、フランジ等の締付け状態を定期的に確認してください。

3. 設置室の十分な換気・通風(既存記載の再確認)

COは空気とほぼ同等の重さでその場に滞留し易いことと、無味無臭無色であることから室内雰囲気にも漏れていても作業者は気付かないことが多く中毒に繋がりがやすすい為、設置室は常時十分な自然換気または機械換気を確保してください。換気能力が不足する場合には作業中の在室人数や作業時間の制限を検討してください。

4. 換気が不十分な場合はCO検知器の設置を強く推奨

設置室の換気が十分でない場合や不確実な場合は、必ずCO検知器を設置してください。検知器は定期点検、電池交換、感度試験を行い、動作確認をしてください。

以上